



# 加藤病院の新館が完成しました

医療法人 雄仁会 理事長 加藤 一郎



みなさまの心のケアの拠点として加藤病院の新館が完成しました。昭和二十六年に開設、昭和六十二年には医療法人雄仁会となり、加藤病院・岡の苑・和の郷・精神科デイケアを中心に医療、介護、在宅支援等で、安心して生活できる地域づくりをめざしてまいりました。

近年、少子高齢化が急速にすすみ、心の病だけではなく認知症の予防・早期発見・早期治療への対応が求められています。

このニーズにお応えすべく、昨年より病院の新築、改築を行いました。稲葉川に面した明るい環境でお気軽においでいただけるよう、設計に取り組みしました。

雄仁会職員一同、地域のみなさまがいつまでも安心して生活できるようにがんばってまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

平成22年6月完成



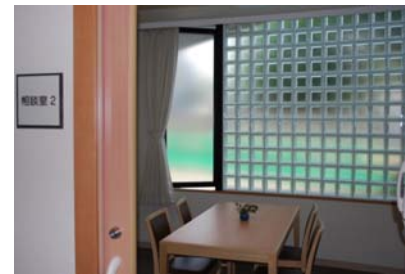
総合受付カウンター



待合ロビー



診察室



相談室



ナースセンター



デイルーム



病室



病棟(個室)



全景外観

## 雄仁会 基本理念

安全・信頼・満足

## 雄仁会 基本方針

1. 患者様の立場を尊重し、自立と社会復帰を支援します。
2. 仕事に使命感を持ち、業務の改善に努めます。
3. 他部門と連携してチーム医療を遂行します。
4. 地域社会から愛される医療機関を目指します。

### 【患者様の権利】

- 当院は、精神保健福祉法に則り患者様の「基本的人権」を守ります。
- 患者様は「知る権利」と「知りたくない」権利を有します。
- 患者様は、医療従事者により「十分な説明を受ける権利」を有します。
- 当院は、患者様の「自分で判断し、決定する権利」を尊重します。
- 当院は、いかなる場合でも患者様のプライバシーの

### 【患者様の責務】

- 患者様は、治療が円滑に行われるよう、自ら治療に参加する義務があります。
- 患者様は、治療が円滑に行われるよう、規律を守り行動する義務があります。

### セカンドオピニオン方針

セカンドオピニオンとは、患者様がご自身のご病気に対する診断・治療方針等につきまして、現在受診されている医師(担当医)以外の医師の意見(第二の意見)を求めようとする事です。

当院はインフォームドコンセント(説明と同意)が最も重要な事項と考えており、治療法などを決定されるのは患者様や御家族(自己決定)ですので、他の治療法の可能性など患者様がより納得の得られる医療を受けていく為に、セカンドオピニオンを推進してまいります。

セカンドオピニオンには、  
 (1)当院以外の医師の意見を求められる場合  
 (2)当院でセカンドオピニオンの提供を受けられる場合があります。

### 加藤病院

TEL 0974-63-2338

FAX 0974-63-2339

#### 診療科目

- ◇心療内科 (ストレス病・うつ病・不眠症)
- ◇精神科
- ◇内科
- ◇皮膚科(火曜日 午前のみ)

※もの忘れに関する相談  
 ※精神科デイ・ケア、デイ・ナイト・ケア  
 ※精神科訪問看護

診療時間 平日 9時～17時  
 土曜 9時～12時  
 (日曜日・祝日は休診)  
 面会時間 午前9時～午後7時

### 介護老人保健施設 岡の苑

#### サービス内容

- ◇入所・短期入所
- ◇認知症専門棟

- ◇通所リハビリテーション
- ◇訪問介護ステーション
- ◇訪問リハビリテーション
- ◇指定居宅介護支援事業所

TEL 0974-63-3837

通所時間  
 午前9時20分～午後3時30分  
 (日曜日は休み)  
 面会時間 午前8時～午後7時

### 認知症対応型施設

- ◇グループホーム和の郷
- ◇デイサービスセンター和の郷

TEL 0974-63-0225

通所時間  
 午前9時30分～午後3時40分  
 (日曜日は休み)

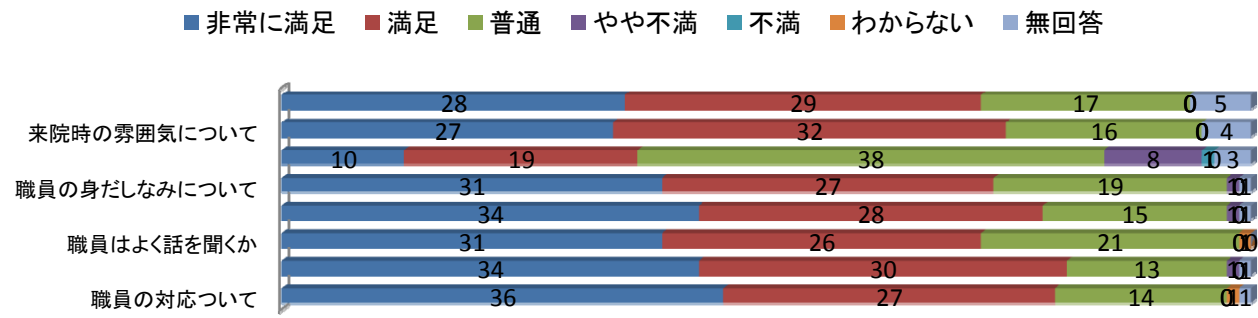
**医療法人 雄仁会**  
 メールアドレス yuujinkai@lime.ocn.ne.jp  
 HPアドレス http://www16.ocn.ne.jp/~yuujin/

〒878-0013 大分県竹田市竹田1855

TEL 0974-63-2338  
 FAX 0974-63-2339



## 加藤病院サービスに関するアンケート調査結果報告 外来患者様 (回答79件)



### サービスに関するアンケート調査結果内容 ～外来患者対象～ 平成22年8月10日～20日実施

外来患者さん対象にアンケート調査を行いました。79件の回答をいただきました。総合的にみて約70%の満足評価を得ることができました。しかし、待ち時間に関しては、やや不満または不満が9件と11%の方が不満に思われていることが、調査結果でわかりました。待ち時間調査は、毎年行われ時間短縮に向けて努力しているところですが、待ち時間の軽減にさらなる努力を要することが、わかりました。この調査の結果により病院利用者の皆様からの貴重な意見を病院職員一同が真摯に受け止め、今後にかいしていききたいと思います。アンケートのご協力ありがとうございました。

#### ＜改善を求める意見＞

- 椅子の配置等もう少し、多人数が座れるようにしてほしい。
- 内科にかかっているのだが、普通の病院のように直接医師に診てもらえないだろうか。看護師が聞き取るので待ち時間が長い。対応を早くしてほしい。
- トイレの乾燥機がほしい。
- 受付横のテレビの音が聞こえずらい。

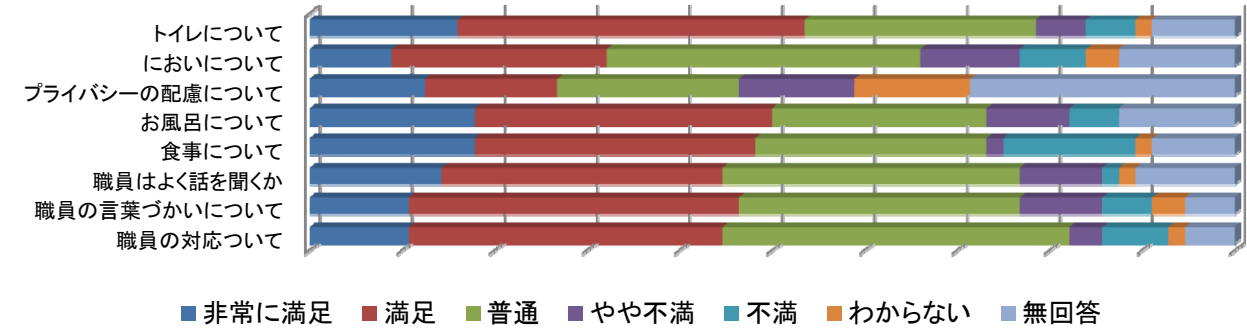
#### ＜満足の意見＞

- 何もいう事はございません。大変居心地が良いです。対応については、優しく親切でありがたく思っております。
- なにも悪いところがありません。
- 良いと思います。
- 悪い時見てくれるので助かります。
- みなさん親切です。

#### ＜改善内容＞

- 多人数が座れるようにしてほしい。について  
外来患者さんで混雑している際には、イスを準備しております。また、困っていらっしゃる患者さんには、職員全員が声掛けを行い座れる場所をご案内するよう気をつけていきます。
- 内科受診は、直接医師に診てもらいたい。について  
精神科の受診の手順と内科受診の手順は同じではありません。おまかせをしない努力を尚一層していきたいと考えております。
- トイレの乾燥機について  
トイレの乾燥機は常備しております。しかしながら、わかりづらい面もあったかと思われま。現在は、手指乾燥機と表示し改善いたしました。
- 受付横のテレビの音が聞こえずらい。について  
適音量は、人によって違いがあるかもしれませんが、周囲のことを考えると現状の音量が適していると思われま。しかし、聞こえづらいようなそぶりや、声かけなどがございましたら、状況にあわせて対応していきます。
- まとめ  
今回のサービスに関するアンケート調査により、上記のような改善策を話し合うことができました。また、待ち時間については、待ち時間調査を年1回行い時間は短縮されている状況であるにもかかわらず、相変わらず待ち時間の満足評価は低いようです。待っている間に感じる感情は、人それぞれであります。負の感情を起ささない声かけや気配りに努力の必要性が感じられました。

## 加藤病院サービスに関するアンケート調査結果報告 入院患者様 (回答56件)



### サービスに関するアンケート調査結果内容 ～入院患者対象～ 平成22年8月10日～20日実施

入院患者さん対象にアンケート調査を行いました。56件の回答をいただきました。総合的にみて約50%の満足評価を得ることができました。残念なことに全般の問いに対して回答者の約10.7%～17.8%がやや不満若しくは不満を抱えていることが、調査からわかりました。まずは、この意見を真摯に受けとめ言葉づかい、職員の対応についてはすぐにでも改善するよう対策をたてていきたいと考えています。アンケートのご協力ありがとうございました。

#### ＜改善を求める意見＞

- 食事をおいしく作ってください。
- 毎日の食事についてですが、調査はするけど一向によくならず食事が悪いです。よくならないですか。
- OT活動が単純です。
- 看護補助の職員が毎日1人いてくれることを望みます。
- トイレトペーパーは予備をいつも準備してほしい。
- 言葉づかいは、全員の看護師が悪い。

#### ＜満足の意見＞

- 掃除機が使い良いです。(自分の身の回りをお掃除する時)
- 何回もそんなこと(アンケート調査)して書かなくていい。
- 久住方面にドライブに行きたい。
- わかば(タバコ)をもっといただきたい。

#### ＜改善内容＞

- お食事について  
「おいしくない。」「いくら言っても改善しない」等は、貴重なご意見として拝聴したいと考えます。栄養部は、嗜好調査を行いその結果を栄養会議等で検討し、厨房スタッフ会議で反映しています。栄養的、病的、味覚的にも満足していただけるよう日々努力しております。意に満たないと感じる場面もあるかと思いますが、レベルアップした食事作りをしていけるよう意欲を高めて頑張っていきたいと思っております。
- 職員の言葉づかいについて  
職員一人一人が気をつけていきます。患者さんの気持ちを良く理解し気持ちの良い対応になるよう心がけていきます。また、職員同士で、注意のできるような環境づくりを目指していきます。
- 病棟内のおいについて  
定期的な換気、そうじを行い、消臭剤などを利用しながら対応いたします。また、においの原因を確認し、早急に片付けるよういたします。
- 患者さんの話しをよく聞く。について  
患者さんから不平や不満を聞いた時、不備があった時に右耳、すぐに確認をする。原因を考える。改善策を立てる。実行する。を実施いたします。職員全員で考えスタッフ全員が参加して実行できるようにいたします。
- まとめ  
今回のサービスに関するアンケート調査により以上の改善を各部署で話し合うことができました。ご協力ありがとうございました。皆さんの貴重な意見を大切に、よりよい(医)雄仁会加藤病院を目指してまいります。

# 稲葉よろうち座頑張っています

雄仁会は、豊肥地域における認知症の専門医療機関の指定を大分県から受けています。

「認知症が気になりだしても大丈夫よ」と言えるような地域を目指していきたいと思います。それには、早めに専門医療機関に受診することが大切です。

そこで、芸達者揃いの雄仁会は「稲葉よろうち座」を昨年5月に結成し、受診に結びつきやすくする方法の寸劇を行っています。

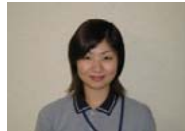
甲斐副院長の講演の前に行っていますが、「後に続くお話と結びつきやすい」と大変ご好評をいただいています。もちろん、役者の方も楽しく演じさせていただいているのですが、雄仁会としては地域に向けた新たな試みです。

これからも雄仁会は地域の方々と共に、地域づくりに貢献していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



地域連携部  
部長  
神品 實子  
(保健師)

在宅復帰支援部  
部長 古川 直美



## 介護予防教室「しゃんしゃん教室」について

岡の苑は平成18年より竹田市からの委託をうけ、介護予防の取り組みが必要な高齢者を対象に介護予防教室「しゃんしゃん教室」を開催しています。当苑は竹田・荻地域の2箇所を、大久保病院が久住・直入地域

を担当しています。1箇所の定員は15人で、週1回の教室を全12回実施します。

教室では看護職が日々の健康状態を把握した上で、理学療法士・作業療法士がレベル別にグループを分け、ストレッチや筋力トレーニング、バランストレーニングを実施しています。また、管理栄養士による栄養に関する講義、言語聴覚士・歯科衛生士による口腔ケアや嚥下に関する講義を行い、各専門職によるアセスメントの結果必要とされた人に対しては、個別プログラムを作成し、それぞれの状況に応じた介護予防の取り組みを支援しています。

私たちは対象者の方に、楽しく意欲的に参加して頂き、日々自宅においても教室で習った事を続けていただくために様々な工夫を重ねています。運動の資料はお茶の間や寝室でいつでもできるように見やすく汚れにくい素材に加工し、自宅状況や健康状態を把握するための「しゃんしゃん日記」を取り入れています。また、楽しく対象者の方同士が交流できるよう茶話会やレク、しゃんしゃん音頭なども取り入れ、とにかく笑い声の絶えない教室づくりに努めています。

## 「こころの健康相談をご利用下さい」

竹田市心の相談支援事業所では、月1回、地域の保健センターで巡回相談(要予約・無料)を行っています。

### 【日程】

竹田地域：第4火曜日 竹田市総合社会福祉センター 荻地域：第1月曜日 荻福祉健康エリア

久住地域：第4木曜日 久住保健センター 直入地域：第3水曜日 直入公民館

各会場とも相談時間は午後1時30分～午後3時30分です。

変更等の場合もありますので「竹田市心の相談支援事業所」までご連絡下さい。

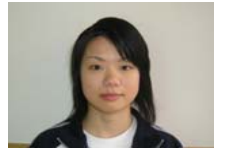
【連絡先】 事務所：竹田市大字竹田1855番地

電話：0974-63-3346

時間：月曜日～金曜日 (午前9時～午後5時)

祝祭日・年末年始はお休みです

## 竹田夏越し祭に参加して



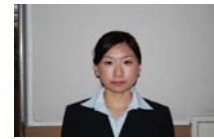
社会復帰支援部  
作業療法士  
田口 文子

七月十七・十八日の二日間、竹田市内で竹田夏越し祭りが行われ、ひよつとこ踊りやソーラン節などの踊りと共に、山車が駅前から商店街にかけて回りました。当院・施設からも、十七日の山車引きに三名、十八日の踊りに八名が参加し、地域の方々との交流を深めつつ祭りを楽しみました。十八日の踊りはソーラン節を含む六種類の踊りがあり、動きの速い振付を中々覚える事が出来なかった私たちですが、本番では小学生・高校生が若さあふれる踊りに元気をもらいながら、そして地域の方に支えてもらいながら、何とか踊りきることができました。また、祭りの最後には小雨とともに鮮やかな虹が出現し、まるで祭りの成功を祝うかのような様子でした。夏を乗り切

る元気をくれた夏越し祭りを、また来年も地域の方々と共に楽しみたいと思います。



## 夏祭り



社会復帰支援部  
作業療法士  
高山 恵美

夏祭りを行った八月三日は天候にも恵まれ、屋内の開催ではありましたが非常に夏らしさを感じるこの出来る日和でした。

院長先生の挨拶のもとに始まった夏祭りは、患者さんによる日本舞踊の披露やカラオケ大会へと繋がります。何時もに比べ緊張した面持ちでステージに上がる患者さんには、どこ

か凜としたものを感じ、また、大きな拍手で声援を送る皆様も、とても穏やかな表情を浮かべており、夏祭りを楽しんで頂けているということが伝わってくる一瞬でもありました。また、以前より催し物のリクエストとして多くの患者様から「神楽が見たい。」との希望があったこともあり、今年度のメインとして三重総合高等学校神楽部の皆様に来院して頂きました。高校生とは思えない程の迫力のある舞いに、スタッフも含め皆様魅了され、その表情はキラキラと輝いて見えました。

今回イベントの企画をさせて頂き、外部との連絡や事前の準備等大変さを実感することとなりましたが、何よりも患者さんの楽しそうな表情を見ることで大きな達成感を得ることが出来ました。今後も、患者さんの笑顔を多く見られるような様々なイベントを計画していきたいと思っております。

## 「岡の苑」チームアプローチ



歯科衛生士  
金子 良美

超高齢化社会となり、要介護高齢者への口腔ケアの重要性が評価されてきました。摂食・嚥下面において、認知症を含む高齢者への専門的ケアが必要となっております。

現在は岡の苑に所属し、看護・介護へのアドバイス、困難者への専門的ケア、歯科致傷へのつなぎと調整、チームカンファレンスやNSTへの参加、研修会の開催などの業務を行い、通所・病棟・グループホームからの依頼にも対応しています。

今後も地域リハ特定高齢者の介護予防事業を通じ、地域支援活動を行い、「口から食べる」ことの大切さを伝えて行きたいと思っております。